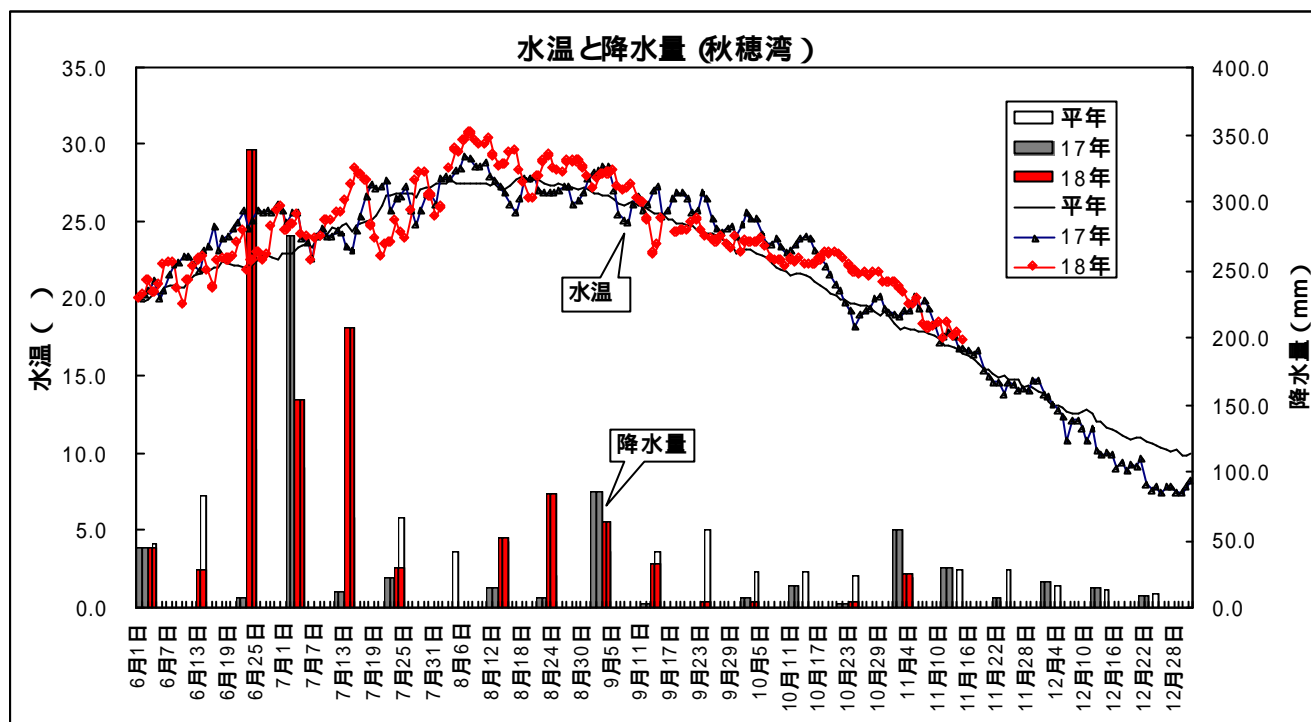


1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は1月上旬からの寒気により順調に低下していましたが、1日以降は日中の陽気により平年より1.5℃高く推移しています。1月15日の秋穂湾の水温は17.2℃となっています。各漁場の1月13日から14日の水温は下関地区15℃、宇部地区で18~19.8℃、防府地区20℃となっています。1月上旬は久しぶりの降水があり、1月上旬の降水量は25mmと平年の116%と多くなっています。



(2) 栄養塩

地区	DN	PO ₄ -P
下関地区	平均 156 ^g / ^m ³(低 155~ 高 156 ^g / ^m ³) 平年比 125%、前年比 70%	平均 1 ^g / ^m ³(低 16~ 高 1 ^g / ^m ³) 平年比 122%、前年比 84%
宇部地区	平均 124 ^g / ^m ³(低 43~ 高 878 ^g / ^m ³) 平年比 167%、前年比 197%	平均 7 ^g / ^m ³(低 5~ 高 10 ^g / ^m ³) 平年比 62%、前年比 46%
防府地区	平均 50 ^g / ^m ³(低 33~ 高 6 ^g / ^m ³) 平年比 87%、前年比 134%	平均 7 ^g / ^m ³(低 6~ 高 9 ^g / ^m ³) 平年比 68%、前年比 59%

2 養殖状況

先行して単張りが開始されている下関地区、小野田地区に加え、防府地区では1月8日から、宇部地区では1月13日から単張りが開始されました。1月1日の降水、シケの影響で栄養塩量は増加し、葉体の色調は概ね良好です。入庫時には色調の浅い葉体が多く見られましたが、出庫後の色戻りも順調な模様です。先行している地区では葉体も15cm程度に成長しています。病害は一部でシログサレが確認されています。アカグサレは1月上旬に生産を終了した高泊地区のタンチサイでは確認していますが、他地区ではまだ確認されていません。

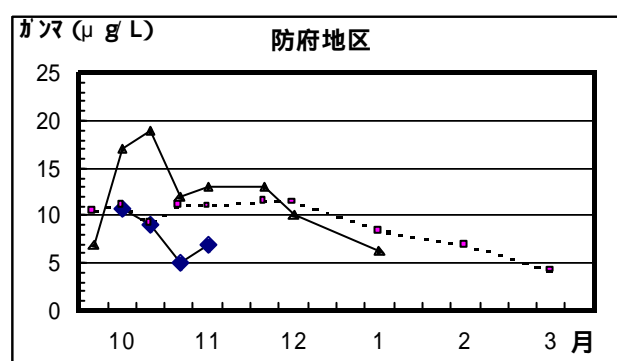
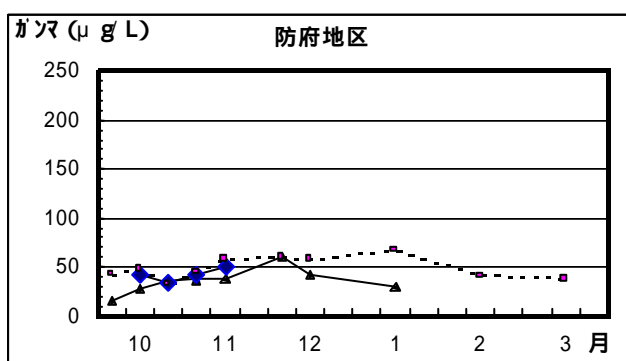
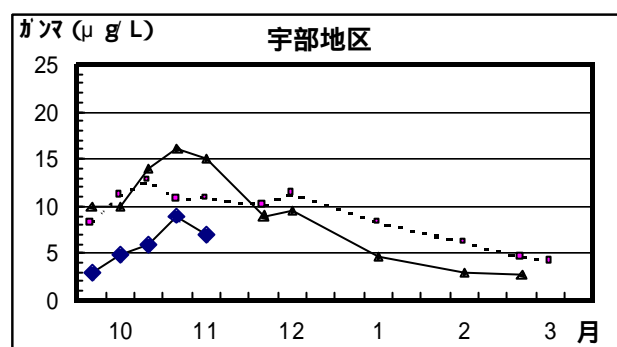
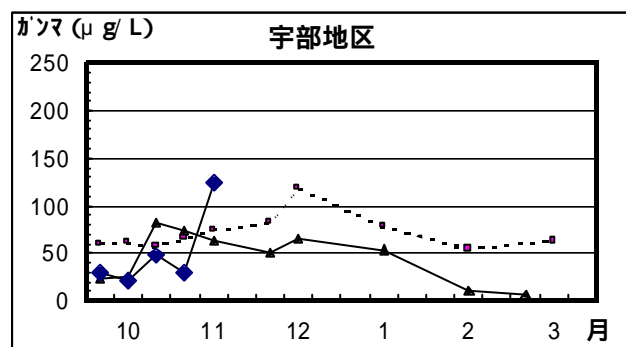
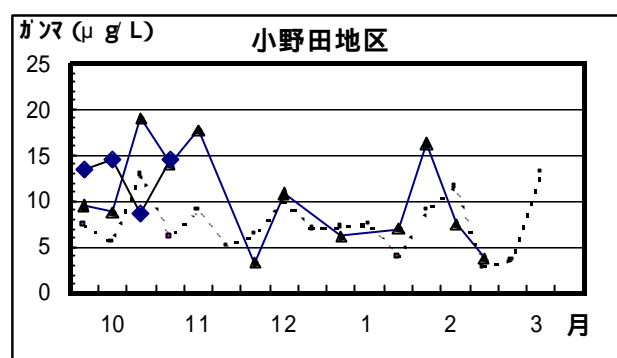
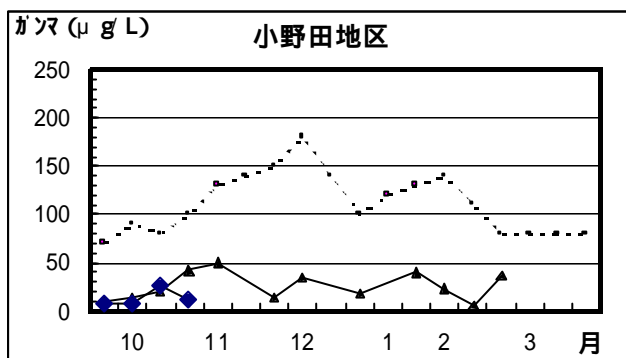
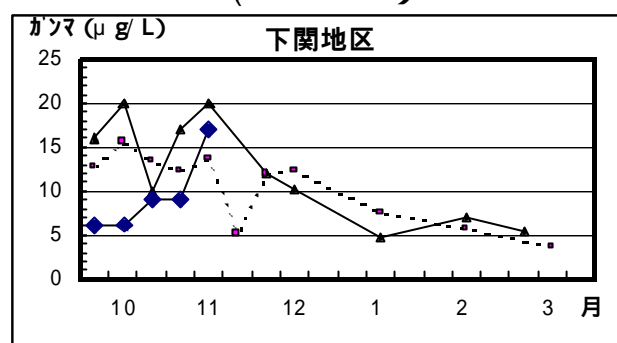
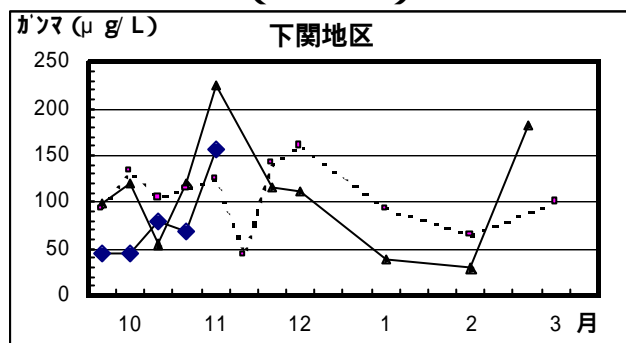
3 注意事項

下関地方气象台の週間予報では今週末から最高気温が20℃前後の暖かい日が続くと予想されています。温度差が激しい日が続くとバリカン症の発生が懸念されます。伸ばしすぎず、早めの摘採作業を心がけて下さい。また、栄養塩が増加したことにより大型珪藻プランクトンの増加が懸念され、ドタによる網汚れに対する注意も必要です。

栄養塩調査結果 (1月 15日)

(DIN)

(PO₄-P)



(— 18年度、 • 17年度、 ... 平年、小野田地区分析 :山陽小野田市環境調査センター